

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	胃がん術後連携パスをより効果的に利用する方法
研究責任者 (所属科名)	檜原 淳 (外科)
本研究の目的・意義	情報を共有し、病院間での役割分担を行う目的として、地域完結型の連携パスが導入されています。特に胃癌の術後では、胃切後の術後障害による生活の質の低下へのケアも必要であり、パスの脱落を防ぎ、いかに継続的な診療を行うかが課題です。この度、当院が行ってきた胃がん術後地域連携パスについて検討しました。
調査方法・調査期間	2006年1月～2017年12月までの情報を調査対象とします。 後ろ向きコホート研究であり、2018年12月までを研究予定期間とします。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2006年より2017年までに、当地区の胃癌連携パスに登録された全症例を対象とします。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 部長 加納幹浩
備考	